

一般質問及び総括質疑通告表

1.

13番 日域 究 議員

質問方式 一問一答

生活道路の整備の推進を

本市は、平地の狭い自治体です。さらには狭隘な道路が多く、土地の利用状況も非効率な部分が多くあります。せつかく始めたセットバックの寄付をルール化しましょう。

また、狭隘道路に接する土地の地権者から寄付を受けて幅員を拡幅することは可能ですか。道路整備は行政の専権事項です。道路整備で土地の有効活用を図ることは大切なまちづくりです。

不登校の原因を究明し、不登校の支援ではなく対策を

不登校の原因は沢山あるでしょう。主なものから対策を。一斉授業から個別最適に。長時間拘束ではなく、子どもを家庭に。子育て世帯には時短勤務を。ときにカウンセラーの派遣も。しかし教育委員会はなぜか原因の究明はしません。20年前からそうなのでしょう。何故なのか伺います。

大竹市が描いている小方新駅実現のプロセスを教えてください

先日、海田町の新駅構想の新聞記事を読みました。現地をざっと調べると、線路に沿って細長い公園があり、ここかなあと勝手に思ったりします。翻って小方新駅はどんな風になるのでしょうか。代替地を用意していることから、かなりの立退きが必要です。しかし、土地収用と請願駅はマッチしないと言われ、確かに海田新駅も含めてそのような駅はありません。小方新駅は可能なのでしょうか。

2.

4番 山代 英資 議員

質問形式 一問一答

自転車の交通違反に対する反則通告制度（青切符）導入への対応について

道路交通法の改正により、4月1日から自転車の交通違反に対する反則通告制度（いわゆる「青切符」）が導入されます。

自転車関連事故は近年横ばいで推移しており、死亡・重傷事故の約4分の3に自転車側の法令違反が認められるなど、厳しい状況が続いています。こうした背景から、悪質・危険な違反への実効性ある対応として本制度が創設されました。

一方で、違反の中には、ながらスマホや飲酒運転といった明確な過失だけでなく、車道右側通行など道路環境や整備状況に起因するものも含まれるのではないかと考えます。

そこで、以下について伺います。

- ① 本制度導入にあたり、市としてどのように市民へ周知啓発を行うのか。
- ② 自転車の安全走行に配慮した道路整備をどのように進めていくのか。
- ③ 警察との連携体制をどのように構築していくのか。
- ④ 今後の自転車通行環境整備に関するロードマップがあればご教示ください。

本市のお考えをお尋ねいたします。

3.

5番 岡 和明 議員

質問形式 一問一答

自転車通行帯（ブルーレーン）の整備について

環境、健康、防災など様々な面から自転車の活用が注目され、各地で自転車通行帯（ブルーレーン）設置が進んでいます。

ブルーレーンが整備されている自治体は見た目の印象が良く、自転車と歩行者の安全が向上し、自転車利用による住民の健康増進が期待でき、災害など非常時の避難・運搬・移動手段として有用とされています。

2016年の「自転車活用推進法」、2019年の「広島県自転車活用推進計画」を受けて、2020年に「大竹市自転車活用推進計画」が策定されています。そこでは、「自転車と歩行者を分離し、歩行者の安全な通行空間を確保する」方向が示されています。

これまでに市の自転車活用推進計画に沿って、どのようなブルーレーンがどの程度設置されたかお尋ねします。また、推進計画では「安全で快適な自転車通行空間を整備することを目的に自転車ネットワーク路線を選定し、選定した路線ごとに整備形態などを示した『自転車ネットワーク計画』を策定する」こともうたわれています。「自転車ネットワーク計画」の現況についてもお尋ねします。

4.

3番 豊川 和也 議員

質問形式 一問一答

北朝鮮による拉致問題の風化防止に向けた周知啓発の「見える化」と教育の体系化等について

前回、市長が「拉致行為は許しがたい人権侵害」と明言された認識を踏まえ、北朝鮮人権侵害問題啓発週間（12/10～16）に合わせて市長、教育長においても質問をさせていただきます。

亀居公園の通年活用による観光活性化と管理水準の向上について

亀居公園の観光活性化へ向け、

- ①通年イベント化の仕組みの整備
- ②園外・園内サインの更新
- ③「思い出台帳」とデジタル記帳

について

次年度クーリングシェルターの予定、暑さ対策

夏の暑さは例年増すばかりなので、暑さ対策はしっかり予算を策定するこの時期に聞いておく必要があるため、来年度に向けた暑さ対策を質問します。

国歌「君が代」の指導について

20歳の集いでの国歌斉唱の状況を踏まえ、市内小中学校における国歌「君が代」の指導状況、児童生徒の理解促進、式典での歌唱指導について教育長にしっかりと伺う。

市民サービスを守るために 職員へのカスタマーハラスメント対策を問う

市民のために働く職員が、安心して働けない職場であってはなりません。

カスタマーハラスメントへの対策、相談しやすい体制づくり、さらに名札の表示見直しなど、現場を守るために必要な課題を取り上げます。

危険空き家対策を含めた空き家対策の今後の方向性について

本市では空き家の増加が課題となっており、高齢化の進行や相続未整理の増加に伴い、今後さらに管理不全となる空き家の増加が懸念される。倒壊や落下物など住民の安全に関わる事案も想定される中で、行政としてどのような基本方針のもとで空き家対策を進めていくのか、市としての課題認識と今後の方向性を伺う。

また、危険度の高い空き家への対応について、市民の安心・安全を確保する観点から、どのような考え方で対応していくのか、市の基本姿勢を伺う。